



さくら

〈笑顔輝く宮床中〉 〈風格のある宮床中〉



〔校木:高野槇〕

【教育目標】
豊かな心もち
自ら学び共に高め合う
生徒の育成

【校訓】
自立・共励・躍進

1/10 新年の志を胸に秘め「第3学期始業式」。

明確な目的を持って 今が頑張り時！『雪に耐えて梅花麗し』

2023年(卯年)は飛躍の年。ジャンプする前には必ずしゃがみます。そうして力を蓄える。4月から新たな節目を迎えるにあたり、“今”は正にその踏ん張り時なのかも知れません。第3学期の初日から数えて、今年度の登校日は、1・2年生は52日間、3年生は43日間。力を蓄え、友との絆を深める、今しかできない内容の濃い一日一日を、宮床中一丸となって師弟同行で歩んでまいります。

皆さん、あけましておめでとうございます。いよいよ今日から3学期のスタートです。各家庭で穏やかな年末年始を迎えた皆さんが、こうしてまた元気に登校し、全校生徒一堂で再会できたことを、何よりうれしく思います。

さて、これからしばらくの間、冬の厳しい寒さが続くこととなりますが、2月から3月にかけて見頃を迎える花があります。厳しい寒さの後の「春の訪れ」を感じさせてくれる花、それは“梅の花”です。今日は、この“梅の花”にちなんで『雪に耐えて梅花麗し』という言葉を紹介しします。これは、プロ野球の「広島東洋カープ」で活躍した黒田博樹投手が座右の銘とした、西郷隆盛の言葉です。黒田投手は、3年生の道德の教科書にも掲載されていますので、見覚えや聞き覚えのある皆さんもいることでしょう。また、座右の銘とは「常に自分の心に留めておき、戒めや励ましにする言葉」のことです。

まずは、黒田投手の前に、西郷隆盛についてお話しします。西郷隆盛は、江戸の幕末、薩摩藩の下級武士で、藩主である島津斉彬公の目にとり登用されますが、斉彬公の急死で失脚し、奄美大島に流されます。一旦は薩摩に戻る事ができたものの、藩の権力者の怒りを買って、再び沖永良部島に流されてしまいます。沖永良部島では、雨が吹きつけるほど粗末な牢獄に閉じ込められました。島に流されてから2年後に復職し、薩長同盟の成立や江戸無血開城など、大きな成果を上げ、明治政府では重要な役職に任命されています。そんな西郷隆盛が、イギリスに留学する甥に向けて書いた手紙の中の言葉が『雪に耐えて梅花麗し』です。厳しい雪の寒さに耐えてこそ、“梅の花”は美しく咲く。人間も、多くの困難を経験してこそ、大きなことを成し遂げられる。これは、甥の成長を願う激励と言えましょう。

黒田投手は、高校の授業でこのエピソードを知って感銘を受け、それ以来、座右の銘としました。黒田投手は高校の3年間、控え投手だったために、公式戦で一球も投げられずにいました。しかし大学進学後、トレーニングの成果が始め、卒業後は「広島東洋カープ」に入団し、エースとして活躍します。その後、アメリカのメジャーリーグでも活躍し、再びカープに復帰すると、現役最後の2016年、日米通算200勝を達成。カープ25年ぶりのリーグ優勝に貢献し、有終の美を飾りました。

さて、中学生である皆さんにとって、中学校生活は楽しいものであってほしいと願います。毎日、学校へ行くのが楽しみだと言って、通ってほしいものです。しかしながら、必ずしも皆さんの毎日は、楽しいことばかりではないはずです。勉強が苦しいと思う人もいるでしょうし、部活動の練習が厳しいと思う人がいるかもしれません。特に3年生は今、自らの進路目標の実現に向け、一番苦しい道を歩んでいる途中ではないでしょうか。そんなときに、この言葉を思い出してもらいたいかもしれません。『雪に耐えて梅花麗し』。今の苦しさや厳しさに耐えてこそ、きっと自分は大きく成長できる。「今日の勉強を頑張れば、自分は将来きっと、大きな花を咲かせることができる。」「今日の部活動を頑張れば、自分はもっと強くなれる。」そう信じて頑張ってください。もちろん世の中には我慢してはいけないこと、耐えてはいけないこともあります。この見極めは大切ですが、我慢すること、耐えることが将来の自分にとって必要だと判断できたら、頑張ることも必要です。では、耐えるためには何が必要か。私は、ぜひ「目的」を大切にしてほしいと考えます。「自分は何のために学ぶのか」「自分は何のために部活動に取り組むのか」その「目的」を自分なりに考え、はっきりさせてみてください。そうすれば、耐えること、苦しいことから逃げずに、努力することができると思います。

この3学期は、4月から始まる新しい進路や学年で活躍するための、力を蓄える期間でもあります。宮中生一人一人が、目の前の困難に負けず、自分だけの美しい花を咲かせてくれることを、また、晴れやかな笑顔で、今年度の締めくくりを迎えられることを心から願い、式辞といたします。〔3学期始業式 校長式辞から〕



〈全校生徒が一堂に会した始業式〉

令和4年度 第3学期始業式

厳寒の中、
2月から3月
にかけて見頃
を迎える花

梅の花



令和4年度 第3学期始業式

たはいかうわ
雪に耐えて梅花麗し

黒田 博樹
(元広島東洋カープ投手)
の座右の銘

西郷 隆盛
の言葉

大和町立宮床中学校

令和4年度 第3学期始業式

たはいかうわ
雪に耐えて梅花麗し

厳しい雪の寒さに耐えてこそ、
梅の花は美しく咲く。

- ◆ 江戸幕末、薩摩藩の下級武士
- ◆ 2度の流刑(奄美大島・沖永良部島)
- ◆ 薩長同盟成立、江戸無血開城
- ◆ 留学する甥に向けて書いた手紙

西郷 隆盛

大和町立宮床中学校

令和4年度 第3学期始業式

たはいかうわ
雪に耐えて梅花麗し

厳しい雪の寒さに耐えてこそ、
梅の花は美しく咲く。【目的】

- ◆ 高校時代、控え投手で登板なし
- ◆ 大学で、努力の成果が表れる
- ◆ 広島東洋カープに入団
- ◆ メジャーリーグでも活躍
- ◆ 日米通算200勝

黒田 博樹

大和町立宮床中学校

令和4年度 第3学期始業式

たはいかうわ
雪に耐えて梅花麗し

大和町立宮床中学校



第3学期始業式では、代表生徒が「3学期の抱負」を発表しました。1年代表の下杉望月さんは、「仲間の心を両手で扱う」意識が高まっている学年の変化や、4月から先輩になる意気込みを発表しました。また、2学年代表の加藤虎徹さんは、4月から学校をリードする最上級生になる思いと、受験に向かう決意を述べました。3学年代表の今在家梨緒さんは、中学校卒業という分岐点を控え、休み時間も勉強に取り組む仲間の姿に触れ、残された一日一日を大切に過ごす思いを述べました。生徒会代表の中田莉緒さんは、「三送会」や「雪かきボランティア」等の活動を宮中生みんなの力で盛り上げようと呼び掛け、最後に、受験を控える3年生の先輩たちにエールを送りました。

本年度のまとめと4月からの飛躍に向けて…一日一日を大切に

第3学期の学校行事の見通し

| 〈令和5年1月〉 | 〈令和5年2月〉 | 〈令和5年3月〉 |
|--|--|---|
| 始業式(10)・3年私立高推薦入試(11)・1・2年実力テスト(11)・新入生保護者説明会(12)・専門委員会(13)・中央委員会(16)・3年実力テスト(17)・生徒会「蘭玉づくり」「島田飴体験会」(18)・1年「しめ縄づくり」(19)・生活アンケート(20)・3年私立高一般入試A(31) | 3年私立高一般入試B(2)・専門委員会(6)・中央委員会(7)・定期考査④(15)・16)・全校集会(16)・生活アンケート(21)・3年生を送る会(27) | 専門委員会(2・黙)・3年公立高入試①(6)・3年公立高入試②(7・黙)・3年同窓会入会式(9)・卒業式(10)・3年公立高追入試(13)・3年公立高入試合格発表(16)・1・2年ワックス塗布(17)・1・2年PTA懇談会(20)・修了式(24)・学年末休業日(25～)・新入生一日入学(27)・離任式(30) |

*1/16 時点の予定です。日程の変更がありましたらその都度お知らせいたします。

《受賞の記録》

- ・9/14 大和町明るい選挙啓発ポスターコンクール 優秀賞：脇澤良成(1-2)
- ・11/22 宮床中学校区児童生徒健全育成委員会「健全育成標語コンクール」
最優秀賞：山田脩斗(3-4) 『気づいてる？ 知らずに打ってる 言葉の矢』
優秀賞：西片結梨奈(2-2) 『手助けは みんなの連鎖で 円になる』



〈お知らせとお願い〉

- コロナ禍の健康管理対策に引き続きご協力をお願いします。
冬季休業日が明け、本校関係のコロナ感染状況は、これまでに比べて落ち着いた状況ではありますが、ご家族を含めた周囲の感染状況はゼロではありません。また、今年の冬は、コロナウイルスの変異株への移行やインフルエンザとの同時流行も懸念されており、予断を許しません。お子さんの登校前の検温と健康観察、「検温カード」への記入について、今後も引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。

☆本校では、1/16(月)から、これまで登校時に生徒昇降口で行ってきた「朝の健康観察」の体制を、次のように変更いたします。
→各学級の教室で(8:15～35)「朝読書・朝の会」の時間帯に、学級担任が「体温チェック」「健康観察」を実施
(朝の検温対応)「検温カード」①体温 36.9℃以下・無症状 →そのまま教室・活動場所へ
②体温 37.0～37.4℃・心配な症状 →(学年)再検温 →(保健室)再検温
③体温 37.5℃以上・心配な症状 →(保健室)再検温*
※「検温カード」忘れ生徒の対応 →登校後すぐに保健室または各学年で検温。

- 本校では、毎月、全校生徒を対象に「生活アンケート」を実施し、生徒一人一人の困りごとや生徒間トラブルの早期発見と迅速な対応、教育相談の充実を図っております。現在、アンケート結果からは『いじめ』事案は確認されておりませんが、ご家庭で気がかりな点がありましたら、お気軽に相談願います。

〈教頭所感〉“心に火をつける”

いちじつ あした
「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」
この由来は、中国明朝時代の『月令広義』にある「日之計在晨(あした:朝のこと)、一年之計在春(年の始めのこと)、一生之計在勤、一家之計在身」という説があります。何事もはじめに計画を立てるのが肝要ということです。
私たちは、“正月”や“4月”などの節目に新たな目標へのチャレンジを心に誓います。でも、そんな「心のスイッチ」は、いつでも自分の周りにあります。この詩に出会ったのは、私が教員になった20代前半。子供向けの言葉遣いですが、これって老若男女、万人に当てはまり、今“還暦”を迎えた私の心にも響きます。「自分を育てるのは自分」「自分は自分の主人公」「世界でただひとりの自分を創っていく責任者」(※井義雄)。
生徒が自らの心に火をつけ『“させられる仕事(勉強)”から“する仕事(勉強)”に変わるとき苦しきは喜びに変わり、生きがいに眼を輝かせる』。それを全力で支える自分、社会でありたい。

心のスイッチ
東井義雄

人間の目は不思議な目
見ようという心がなかったら
見ようという心が見えない
人間の耳は不思議な耳
聞こうという心がなかったら
聞こうという心が見えない
同じように先生の話も聞いていても
ほんとうにも聞かない人がある
腹の底まで聞く人もある
同じように学校に来ていても
ちつともえらくならない人がある
毎日ぐんぐんえらくならない人がある
今までみんなから
心つまらない子だと
心にスイッチが入ると
急にすばらしい子になる
心のスイッチが
すばらしくもして行くのだ
電灯のスイッチが
暗くもするようし

〔宮床中学校〕〒981-3624 黒川郡大和町宮床字四辻13番地の7

Tel:022-346-2006・022-347-8151 Fax:022-347-8152

「宮床中だより」は学校HPにも掲載しています。https://www.taiwa-tk.ed.jp/miyatoko-j/〈文責：教頭〉